

Contents 目次

古河スカイグループの概要	3
ビジョンと体制	
トップインタビュー	4
CSR委員長メッセージ	6
コーポレートガバナンス／コンプライアンス	8
特集	
アルミのチカラを、社会のチカラへ。	10
環境への取り組み	
環境マネジメント	16
2009年度目標と2007年度実績	18
環境会計	19
事業活動と環境負荷	19
地球温暖化防止	20
大気・水質・土壌・地下水の汚染防止	22
化学物質管理	24
省資源・廃棄物削減	25
グリーン活動／環境調和型製品	26
サイトレポート	
（株）ニッケイ加工	28
各サイトの環境データ	29
社会への取り組み	
お客様との関わり	30
仕入先様との関わり	32
株主・投資家の皆様との関わり	33
地域社会との関わり	34
従業員との関わり	36
生産拠点一覧	39
沿革	39

編集方針

本レポートは、古河スカイグループの2007年度の環境保全活動と社会活動の実績を報告するものです。作成にあたっては、環境省の「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」やGRI(Global Reporting Initiative)の「持続可能性報告ガイドライン(2000年版)」を参考にしました。

報告対象範囲

原則として、古河スカイ(株)の4工場および国内関連会社2社(古河スカイ滋賀(株)、古河カラーアルミ(株))を報告対象範囲としています。ただし、一部の報告ページでは古河スカイ(株)および国内関連会社12社を報告対象範囲とし、本文中の記載を「当社グループ」としています。(また一部の集計データにおいても上記報告対象範囲と異なる場合がありますが、個別注記を入れています。)

報告対象期間

2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)
内容の理解を助けるために、一部これまでの経過と2008年度のデータ・活動内容も含んでいます。

発行年月:2008年10月
次回発行予定:2009年10月

お問い合わせ先
古河スカイ株式会社 総務部
TEL (03)5295-3598 FAX (03)5295-3760

将来に関する予測・予想・計画について

本レポートは、古河スカイグループの過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいているため、これらには不確実性が含まれています。

従って、将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が、本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なる可能性があります。この点をご承知いただいた上で、本レポートをお読みください。

なお、古河スカイグループとその関係者は、予測・予想・計画と異なる事象が発生した場合においても、なんら責任を負うものではありません。